

「関西大学アイスアリーナ」を地域社会に開放

～「市民社会のなかの大学」を目指してスケート教室などを実施～
五輪選手輩出の伝統と実績でアイススケート競技の底上げに貢献

関西大学では、高槻キャンパスにある「関西大学アイスアリーナ」を、高槻市民をはじめ地域社会に順次、開放していきます。

2月18日(日)には、『高槻市民デー』を開催します。これは、高槻市内の小学生5・6年生の子どもたちを対象に、本学アイススケート部関係者(OB・部員)やアイスホッケー部員によるスケート教室と、日本スケート連盟強化選手の平井絵己さん(経済学部2年次生)や第62回冬季国民体育大会成年の部2位の三木遥さん(総合情報学部1年次生)によるフィギュアスケート模範演技などを行い、アイススケートに親しんでもらうことを目的として、高槻市との共催で開かれるものです。

このほか、すでに1月からは、高槻市内の小・中学校の校外学習活動を、さらに4月からは、高槻市在住の一般市民対象のスケート教室、アイスホッケーやフィギュアスケートなどのトップアスリートによるウインタースポーツショー、そして、小学生を対象とする優先開放デーなどを順次、企画・開催することで、地域社会に根付いたアイススケートリンクを目指していきます。

「関西大学アイスアリーナ」は、日本で初めて大学が所有する国際競技規格の通年型アイススケートリンクとして昨年7月に竣工。以来、主に本学の正課体育やアイススケート部、アイスホッケー部、さらには他大学やジュニアのクラブなどが練習場として利用しています。

一方、昨年創立120周年を迎えた関西大学では、本学が持つ資源と活力を結集し、「市民社会のなかの大学」「地球社会のなかの大学」を実現していくことで、「新しい大学文化」を創造していきたいと考えています。

関西大学には、トリノ五輪に出場した高橋大輔君や、国際大会で優勝経験のある織田信成君が在学しています。過去にも、佐藤信夫さん・佐藤久美子さん(旧姓大川)夫妻をオリンピック選手として輩出するなど、フィギュアスケートにおける伝統と実績があります。さらに、関西学生アイスホッケーリーグで2006年から2年連続優勝しているアイスホッケー部も目覚ましい活躍をしています。

今後、関西大学では徐々に対象を広げ、「関西大学アイスアリーナ」を開放し、アイススケートの魅力を広く伝えることで、関西のアイススケート人口の拡大に貢献し、アイススケート競技の底上げにもつながれば、と期待しています。

「高槻市民デー」の実施概要

- (1) 日 時 2月18日(日) 午前10時~正午
- (2) 会 場 「関西大学アイスアリーナ」 高槻市霊仙寺町2丁目1番1号
- (3) 対象者 スケート参加者：市内の小学生5・6年生
見学のみ希望者：市内在住の方(年齢不問)
- (4) 定 員 スケート参加者：100人(付き添いによる見学者200人)
見学のみ希望者：200人
< 申し込みは終了しています。 >
- (5) 費 用 スケート参加者のみ、当日スケート靴代等600円(傷害保険料含む)
- (6) タイムスケジュール
 - 9:30~ 受付開始(関西大学アイスアリーナ入り口にて)
 - 10:00~11:30 小学生(5・6年生)対象にアイススケートの指導
 - 11:30~12:00 平井絵己選手、三木遥選手によるフィギュアスケート模範演技
 - 12:00 終了(予定)

詳細は、<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/oshirase/070218oshirase-iceskate.html>をご参照ください。

「関西大学アイスアリーナ」の開放に関する主な取り組み(予定)

- (1) 高槻市内の小・中学校の校外学習活動への対応
- (2) こども(小学生)を対象にした優先開放日の設定
- (3) 高槻市在住の一般市民対象のスケート教室の実施
- (4) 高槻市民デーの実施
- (5) トップアスリートによるエキシビション競技会の開催

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>